

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SSTココベリの森		公表日		R8年 2月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		室内の物の配置などを工夫し、活動スペースを確保するなど臨機応変に対応している。	活動内容によっては室内ではなく、園庭や芝生広場を利用して行っている状況。個別活動を行う際個室があればいいかなと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準配置は確保できている。	体調不良等の不足の事態に対応が厳しくなることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		更衣時、カーテンをするなどの配慮を行っている。手すりがない為、職員が手を繋ぐなどし転倒防止に努めている。	手すりやスロープの設置が必要ではないか。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動によって、机等を移動し活動空間を広げて行っている。整理整頓を日々職員全員で行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋が確保される。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		目標の共有や、振り返りなどをミーティングを行い周知徹底し反省等の改善に繋げている。	個別部屋は複数人使用の際、広さは不十分である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援計画などは事前に評価を頂き、支援計画に反映している。その他、ご意見やご相談など事業所内相談等を行ったり連絡帳など伺い、支援に反映している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを行ったり、面談を行っている。情報共有も行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		行政の実地指導や、他部門の担当の内部監査等を行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な社内研修及び、外部研修を行い参加している。受講後は所感（レポート）提出をし振り返りを行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		担当者会議や策定会議、ミーティングでの内容と利用者様の様子を照らし合わせ作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		更新時に策定会議を行い、情報の共有を行った上で目標や伸ばしたい所などの話し合いを行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を共有した上で共有漏れがないように、職員が各情報をいつでも確認出来るようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援の中で些細な気づき等も職員間で報告し合い共有出来ている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			家族を含めた支援の取り組みが少し弱い部分がある為、今後検討し取り組みを強化していく必要がある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員ミーティング等でイベント・戸外活動のほか見学体験等を実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		学年や利用者への課題設定を考えその日の活動に取り入れている。		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	SSTココベリの森				公表日	R8年 2月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		5領域に基づき、課題を元に月ごとに支援内容を検討し、活動内容に繋げている。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		昼礼を実施し、その日の活動内容などを職員間で情報共有を行っている。	活動内容の質の向上。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎等でその日に出来なかった場合、翌日に振り返りを行う事もある。	利用者様の些細な変化や様子に支援内容等が振り返りとしてその日その時に行えればいいと思う。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡帳やケース記録などに残すことで振り返りの際の参考資料として生かしている。			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		ミーティング等での共有や個別計画の見直しに伴うモニタリングも事業所内で行い職員間で意見交換を行っている。			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		組み合わせを行い支援の中で生かしている。	地域の学校に行っている児童が多い事業所ではあるが、交流としては取り組めていない為、地域の交流を今後取り入れていけたらいいなど思っている。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分たちが何がしたいかを決めてもらう活動をグループワーク活動として取り入れて行っている。			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や専門職が主に参加している。事前に現場職員も対象児についてモニタリングを行うことで参加出来ている。			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		何かあった際、相談支援相談員や学校関係等の関係機関と連携を取っており会議の際情報共有を行っている。			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校や保護者様と電話やLINE等で連絡体制を構築し連携をとって対応している。	学校によっては連携が難しい所もある。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保育園や児発より情報を頂き共有している。			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行支援などの際、関係機関とモニタリングを行い共有している。			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			研修等を通して連携をとっていけたらいいと考える。		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		交流の機会を持つことが難しい。		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会への直接的な参加はないが、部会の研修への参加等で間接的関わりをもっている。			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やLINE等で随時行っている。				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			外部講師による相談の機会を設ける。			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず説明させて頂いてる。	職員全員が行えるようにしていく。			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		会議や相談員からのモニタリング等で情報共有を行い、ご家族の思いや課題を汲み取りその中でサービス提供の作成を行っている。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SSTココベリの森		公表日		R8年 2月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		ご署名を頂く際、説明を行っている。お逢いできないご家族へは書面や電話にて説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内相談を行っている。その他では、電話などでも随時対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		運動会やマルシェ等のご家族の方が参加出来る行事を開催している。	保護者会の開催の検討。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間で情報共有等行い、即時対応している。また、事業所ごとに相談苦情委員を置き対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		活動内容を毎月のお便り発行やSNSを通じて発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ファイルに綴り、鍵付きの書庫に保管し、必要な場合（会議等）以外は外部に持ち出さないよう管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の困り感や特性を理解し、分かりやすい言葉かけや環境等に配慮を行っている。また、保護者様の状況に応じた連絡方法で共有を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		マルシェを開催を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各委員会でマニュアルを作成し策定している。職員全員が周知できるように会議録やミーティング等で共有している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に委員会を実施している。また、活動内容に防火防災を取り入れ避難訓練の実施等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		担当者会議や、事前の利用者様の情報書面等で確認を行っている。また服用を開始された場合も、情報を頂いている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	該当児童が現在利用していない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		委員を通して、計画は作成されている。	訓練等が不足していると感じることがあるので事業所内研修等の機会や訓練を行う機会を作る必要がある。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		普段の活動の中で、利用する場所などの遊具等を定期的に確認している。	ご家族の方への周知が不足している部分があるので、お知らせする機会を作っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を職員全員が目を通し情報共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内研修や外部研修を行い職員へ意識づけや共通認識を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	委員会で協議を行ったり、重要事項説明書に記載している。		